

きほくのまち人探訪

「寒くなるこれからの季節にきじ料理を」



松浦 孝行 さん

昨年度から鬼北町きじ生産者部会会長を務める松浦孝行さん。30年以上にわたり、きじを飼育しています。きじを飼育する前は、鶏肉生産の会社に勤めていた経験があったことから、家庭で消費するために合鴨や七面鳥を飼っていたこともありましたが、きじの飼育を始めたのは、近所の方からきじのひなを受け取ったことがきっかけ。きじ肉の上品な味に魅了され、家庭用として30羽程度を飼育し始めました。その後、きじが旧広見町の特産品として扱われるようになったことから、飼育数

は増え、現在では約1,600羽のきじを飼っています。

西日本豪雨では、川が氾濫し、きじ小屋が水没。約1,000羽のきじが死んでしまい、きじの飼育をやめようとも思ったそうです。しかし、きじ工房や農業公社の職員らの温かい支援により、飼育を続けることを決意しました。

新型コロナの影響できじの売上も減っています。松浦さんは、「値段は高くても味は格別。きじ鍋などこれからおいしい季節なので、多くの人に食べてもらいたい」と呼びかけていました。

ALTの鬼の里Diary ~Ada's編~

「It may be cold this winter」



今年の冬は、鬼北町でも雪がたくさん降るかもと聞いて、私はとてもワクワクしています。私は、寒さを我慢するのが苦手なので、冬は好きではありませんが、雪は好きです。

アメリカでは地域によって雪がたくさん降る地域と全く降らない地域があります。私の故郷は、ネバダ州のたくさん雪が降る地域。今年は、早くも11月に雪が降ったそうです。

コンピュータなどを使わず、自然界の出来事から天気を予想する方法を知っていますか？今回は、私の知って

いる冬の寒さを予想する方法を教えます。①どんぐりがたくさん実ると、寒い冬の兆候です。②クモが大きな巣を作るのは、長くて寒い冬に備えているともいわれています。③栽培している玉ねぎやトウモロコシの皮が通常よりも厚い場合は、寒い冬になります。④8月の霧の日数は、冬に吹雪が発生する日数であると考えられる人もいます。ほかにも冬の寒さを予想する方法はたくさんあるようです。気付かないうちに私たちのまわりでも、寒い冬に向けた兆候が起こっているかもしれませんね。

地域おこし協力隊活動日記

「鬼北の秋にはおいしい食材がいっぱい」

地域おこし協力隊3年目

はやかわ ゆうこ
早川 優子



きんもくせいの甘い香りが漂い始め、秋を感じる季節になりました。この時期は、空が青く澄んで綺麗なので、見上げて空の写真を撮ることが増えています。

実りの秋が到来。鬼北はおいしい食材がたくさんあるので、毎年この季節を楽しみにしています。今年は大きな栗をたくさん食べました。栗にも筑波、銀寄などたくさんの種類があることやおいしいマロングラッセの作り方を教えてもらい、栗の種類がたくさんあることを知らなかったのが驚きました。

さらに、ゆず農家さんの収穫のお手伝いもさせてもらい、ゆず畑はまるで

楽園のようで、ゆずの爽やかな香りに癒されました。手作りのゆずポン酢がおいしくて忘れられません。体力をつけてまた来年も行きたいです。

